

令和7年度 危険物取扱者試験案内

問合せ先及び
郵送による申請先

(一財) 消防試験研究センター栃木県支部
〒320-0032 宇都宮市昭和1-2-16
栃木県自治会館1階
電話 028-624-1022 FAX028-624-1658

今年度から「乙種第4類・電子申請限定」の特別試験を行います。

試験当日の注意事項

- 試験会場には、定められた様式の写真を貼った受験票を必ず持参してください。
※写真が貼られていない場合は、受験できません。
写真についての詳細は、3ページを参照してください。
※受験票が届かなかった場合は、(一財)消防試験研究センター栃木県支部にその旨の連絡を済ませ、写真を忘れずに持参すること。
- 上履きを持参してください。(小山会場を除く)
- 試験会場は禁煙、車の乗入れも厳禁(周辺の店舗等への無断駐車は絶対にしない)です。
トラブルの発生した場合は、退場を命ずることがあります。
- 試験開始30分前に入室してください。試験監督員から試験における注意事項の説明があります。
- 試験室では携帯電話の電源を切ってカバン等にしまってください。腕時計も外してカバン等にしまっていただきます。電源を切っても作動する機能のものは、アラーム等の音が発生しないようにしておいてください。
- 試験会場には、試験に関する電話照会をしないでください。
- 試験会場周辺での試験に関する有料サービス等は、(一財)消防試験研究センター栃木県支部とは一切関係がありません。
- 事故等により会場や日程を変更する場合には、栃木県支部からの緊急情報又は重要なお知らせとしてホームページに掲載します。特に、気象庁が発表する特別警報等の防災情報に対処して試験日時を変更する場合の緊急情報は、試験開始の2時間前までに掲載します。

試験案内は最後までよく読み、記載されている内容に同意した上でお申し込みください。

申し込まれた方は、試験案内に記載されたすべての事項に同意されたものとさせていただきます。



(一財)消防試験研究センター 栃木県支部

<https://www.shoubo-shiken.or.jp/branch/09totigi/>



インターネットによる受験申請(電子申請)ができます。

詳細は本文3ページを参照し、上記アドレス・QRコードからホームページをご覧ください。

消防法(昭和23年法律第186号)第13条の5第1項の規定により栃木県知事から委任された、危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

1 試験日時、種類、受験地、試験手数料その他

※ 今年度から、宇都宮市において「乙種第4類・電子申請限定」の特別試験を行います。

試験日	第1回 令和7年 6月8日(日)	特別 令和7年 8月31日(日)	第2回 令和7年 11月9日(日)	第3回 令和8年 3月8日(日)
試験室入室時間 試験開始時間	午前9時00分 午前9時30分			
願書申請期間	令和7年 4月7日(月) ～4月18日(金)	令和7年 6月23日(月) ～7月4日(金) ・電子申請のみ ・定員500名	令和7年 9月8日(月) ～9月19日(金)	令和8年 1月5日(月) ～1月16日(金)
合格発表予定日	令和7年 6月25日(水)	令和7年 9月18日(木)	令和7年 11月28日(金)	令和8年 3月27日(金)
試験の種類	全種・全類	乙種第4類のみ	全種・全類	全種・全類
受験地 試験実施会場は 下記[2試験実 施会場]参照	宇都宮市 足利市 小山市 栃木市 那須塩原市 真岡市	「宇都宮市」のみ で行います。 会場は 宇都宮工業 高等学校です。	宇都宮市 足利市 小山市 栃木市 那須塩原市 真岡市	「宇都宮市」の みで行います。 会場は 作新学院 高等学校です。
試験手数料 (非課税)	甲種 7,200円 乙種 5,300円 丙種 4,200円			

注 8月31日(日)実施の特別試験は、定員制のため受付期間を繰り上げることがあります。

※ いったん申請した後の試験日及び受験地の変更はできません。(欠席扱いとなります。)

※ いったん払込みされた試験手数料は、お返しできません。

2 試験実施会場

※ 8月31日(日)実施の特別試験に限り、宇都宮市の会場は「栃木県立宇都宮工業高等学校」で
す。⇒ 所在地 宇都宮市雀宮町52

受験地	試験会場	所在地
宇都宮市	作新学院高等学校	宇都宮市一の沢1-1-41
宇都宮市【8月のみ】	宇都宮工業高等学校	宇都宮市雀宮町52
足利市	白鷗大学足利高等学校	足利市伊勢南町3-2
小山市	白鷗大学大行寺キャンパス	小山市大行寺1117
栃木市	栃木工業高等学校	栃木市岩出町129
那須塩原市	那須清峰高等学校	那須塩原市下永田6-4
真岡市	真岡工業高等学校	真岡市寺久保1-2-9

※ 受験願書の「受験地」欄には、太枠内の地名を書いてください。

※ 試験会場はすべて禁煙、車の乗入れも厳禁です。また、会場周辺に無断駐車はしないでください。

3 受験資格

- (1) 甲種危険物取扱者試験 受験資格が必要です。 ([15甲種危険物取扱者試験の受験資格]参照)
(2) 乙種・丙種危険物取扱者試験 受験資格は必要ありません。

4 書面による受験申請

※ 今年度から、書面願書の受付は（一財）消防試験研究センター栃木県支部のみです。
また、8月31日（日）実施の特別試験の受験申請は「電子申請のみ」です。

(1) 申請に必要な書類及び受付場所

受験願書、受験資格・試験科目免除申請に必要な証明書、既得危険物取扱者免状のコピーを（一財）消防試験研究センター栃木県支部に郵送または直接持参して申請してください。

(2) 受験願書は、折り曲げずに郵送してください。

(3) 申請期間最終日の消印の有るものまで受理します。

(4) 受付時間

申請期間（土・日・祝日を除く。）の午前9時00分から午後5時00分まで。

(5) 試験手数料の払込み 現金自動預払機（ATM）による払込みは、できません。

ア 専用の払込用紙を使用する場合

郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で払込み（払込手数料がかかります。）を行い、「振替払込受付証明書（お客さま用）受験願書貼付用（赤枠）」に郵便局又はゆうちょ銀行の受付局日付印を受けて、受験願書B面試験手数料貼付欄にのり付けしてください。

※ 「振替払込受付証明書（お客さま用）受験願書貼付用（赤枠）」を紛失しても、当センターでは責任を負えません。

イ 受験願書に記載の2次元コード（QRコード）を使用して払込む場合

アの専用払込用紙は使用しないでください。必ず、願書に決済完了番号を記入してください。

※ 14ページの「願書記入例 B面」参照

(6) 受験願書配布場所

ア （一財）消防試験研究センター栃木県支部

イ 栃木県内の消防局及び各消防本部（今年度から願書の受付は行いません）

消防本部名	電話番号	住所
小山市消防本部	0285-39-6660	小山市大字神鳥谷1700-2
宇都宮市消防局	028-625-5500	宇都宮市大曾2-2-21
足利市消防本部	0284-41-3197	足利市大正町863
栃木市消防本部	0282-22-0119	栃木市平柳町1-34-5
佐野市消防本部	0283-22-0119	佐野市富岡町1391
鹿沼市消防本部	0289-63-1141	鹿沼市上殿町520-1
日光市消防本部	0288-21-0016	日光市豊田442-1
那須地区消防本部	0287-28-5119	大田原市中田原868-12
芳賀地区広域行政事務組合消防本部	0285-82-3161	真岡市荒町107-1
塩谷広域行政組合消防本部	0287-44-2513	矢板市富田94-1
南那須地区広域行政事務組合消防本部	0287-82-2009	那須烏山市神長880-1
石橋地区消防組合消防本部	0285-53-0509	下野市下石橋246-1

※ 配布は各消防署・分署でも実施しています。

ウ 書店

- 宇都宮市

「落合書店 宝木店・東武ブックセンター・トナリエ（旧ララスクエア）店・イトーヨーカドー店」「くまざわ書店 宇都宮店（福田屋ショッピングプラザ）・宇都宮インターパーク店・アピタ宇都宮店」

- 鹿沼市

「くまざわ書店 福田屋鹿沼店」

- 小山市

「宮脇書店 小山店」

- 大田原市

「BIG ONE BOOKSTORE 若草店」

- さくら市

「BIG ONE BOOKSTORE さくら店」

- 佐野市

「宮脇書店 イオンタウン佐野店」

- 足利市

「くまざわ書店 足利コムファースト店」

※ 各書店とも、土・日・祝、ア、イの時間外（百貨店、スーパーの休みを除く）にも願書が入手できます。

5 電子申請（インターネットによる受験申請）

※ 申請期間 電子申請の申請期間は、受付開始日の午前 9 時 00 分から受付締切日の午後 11 時 59 分までです。申請期間中は、24 時間対応しています。(表紙に記載されているアドレス又はQRコードからホームページをご覧ください。)

- (1) 電子申請ができる試験種類

全種全類

- (2) 再受験の電子申請

過去 3 年以内に受験し同じ試験種類を再度受験する場合は、証明書類等は不要で電子申請（1種類のみ）ができます。なお、入力時に前回の「受験票」若しくは受験票(控) 又は「試験結果通知書」が必要です。

- (3) 団体で行う電子申請

事前に(一財)消防試験研究センター栃木県支部 (TEL028-624-1022) にご連絡ください。

- (4) 詳細は、(一財)消防試験研究センターホームページ(<https://www.shoubo-shiken.or.jp/>)をご覧ください。

電子申請に関する問合せ先

(一財)消防試験研究センター電子申請室 専用電話(全国共通) 0570-07-1000 (有料)

受付時間 午前 9 時 00 分～午後 5 時 00 分 (土・日・祝日を除く。)

6 受験票 受験票に写真を貼付し、試験会場に持参しないと受験できません。

- (1) 書面申請の受験票

試験日の約 10 日前に発送します。試験日の 5 日前になつても届かない場合は、(一財)消防試験研究センター栃木県支部 (TEL028-624-1022) にご連絡ください。

- (2) 電子申請の受験票

受験票は郵送されません。試験日の約 10 日前に申請時入力のアドレスに受験票がダウンロードできる旨のメールが送信されますので、受験票をダウンロードしてください。

- (3) 貼付する写真

- ・受験日前、6 カ月以内に撮影したもの
- ・カラー・モノクロどちらでも可
- ・髪が目にかかるない。
- ・帽子をかぶらない（宗教上又は医療上の理由がある場合を除く。）、サングラスをしない。
- ・枠なし、無背景で正面から撮影した、上三分身像のもの
- ・デジタルカメラで撮影されたものは、写真専用紙で印刷した鮮明な画像に限ります。
- ・サイズは、縦 4.5 cm × 横 3.5 cm 又はパスポート規格（資格申請用）
- ・裏面に、撮影年月日・氏名・年齢を記入



7 試験の方法

- (1) マークシート方式の筆記試験

甲種・乙種は五肢択一式、丙種は四肢択一式で行います。

- (2) 鉛筆・シャープペンシル（B 又は H B）を使用します。（ボールペン・万年筆は使用禁止）

- (3) 電卓・定規は使用できません。

8 試験種類別の試験科目・問題数・試験時間

種類	試験科目	略称	問題数	合計	試験時間
甲種	①危険物に関する法令	法令	15 問	45 問	2 時間 30 分
	②物理学及び化学	物化	10 問		
	③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法	性消	20 問		

乙種	①危険物に関する法令	法令	15問	35問	2時間00分
	②基礎的な物理学及び基礎的な化学	物化	10問		
	③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法	性消	10問		
丙種	①危険物に関する法令	法令	10問	25問	1時間15分
	②燃焼及び消火に関する基礎知識	燃消	5問		
	③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法	性消	10問		

9 試験科目の一部免除 ([17受験願書の記入要領⑬]参照)

- (1) **乙種免状を持っている方が他の類の乙種を受験する場合は、「法令・物化」の全部を免除します。**
(2) **火薬類の免状を持っている方が、乙種第1類・第5類を受験する時に、科目の免除申請をした場合は「物化・性消」の一部を免除します。**

※ 次のいずれかの免状が該当します。(コピー添付)

- ① 甲種、乙種及び丙種の火薬類製造保安責任者免状(火薬類取締法)
② 甲種、乙種の火薬類取扱保安責任者免状(火薬類取締法)

免除資格者	免除対象の試験種類	試験科目	免除内容	問題数	合計	試験時間
乙種免状の交付を受けている方	全類	①法令	全部免除	0問	10問	35分
		②物化	全部免除	0問		
		③性消		10問		
火薬類免状の交付を受けている方	第1類 第5類	①法令		15問	24問	1時間30分
		②物化	一部免除	4問		
		③性消	一部免除	5問		
乙種免状と火薬類免状の交付を両方受けている方	第1類 第5類	①法令	全部免除	0問	5問	35分
		②物化	全部免除	0問		
		③性消	一部免除	5問		

- (3) **丙種を受験する方が5年以上消防団員として勤務し、かつ消防組織法第51条第4項の消防学校の教育訓練のうち基礎教育又は専科教育の警防科を修了(普通教育を終了した方については同等とみなします。)し、科目の免除申請をした場合は燃焼及び消火に関する基礎知識を免除します。**

※ 科目の免除申請に必要な証明書は、次の2つが必要です。

- ・ 5年以上消防団員として勤務したことの証明書(消防団長又は市町村長が証明するもの)
- ・ 基礎教育又は専科教育の警防科を修了(普通教育を終了)したことの証明書(消防学校長が証明するもの)

試験科目	免除内容	問題数	合計	試験時間
①危険物に関する法令	全部免除	10問	20問	1時間00分
②燃焼及び消火に関する基礎知識		0問		
③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法		10問		

10 複数受験

- (1) 乙種の試験 2種類を同時に受験できます。
(2) 受験願書 **試験の種類ごとに提出してください。**
(3) **試験時間**
ア 乙種免状を持っている方 1時間10分(35分×2種類)
イ 乙種免状を持っていない方 2時間45分(1種類の試験時間2時間)+(他の種類の試験時間45分[性消科目35分+共通科目である法令・物化を2枚目の解答カードに転記する時間10分])

11 合格基準

- (1) 全種類において、試験科目ごとの成績がそれぞれ60パーセント以上であること。
(2) 乙種第1類又は乙種第5類の受験者で試験科目の一部免除を受けた方については、免除された以外の問題で60パーセント以上の成績であること。

1 2 合格発表

- (1) 発表日の午前9時00分に(一財)消防試験研究センター栃木県支部の窓口に合格者の受験番号を公示すると共に、結果通知書(試験科目ごとに正答率を表示)を受験者全員に郵送します。なお、試験結果の合否に関する電話による問い合わせ、試験問題及びその解答に関する問い合わせには、一切応じられません。
- (2) 当センターのホームページには、発表日の正午に掲載します。
- (3) 試験会場周辺での試験に関する有料サービス等は、(一財)消防試験研究センター栃木県支部とは一切関係がありません。

1 3 試験合格後の免状交付申請について

- (1) 免状交付申請手続き

試験に合格した方は、受け取った「試験結果通知書」の記載をよく読み、必要書類等とともに申請期日までに、通知書に付いている「免状交付申請書」を提出してください。(試験結果通知書と免状交付申請書は切り離さないでください。)

なお、免状に旧姓併記を希望する場合は、氏名の欄にかっこ書きで旧姓を記載するとともに、戸籍抄本、旧姓記載のある住民票など公的機関発行の証明書類を提出してください。

- (2) 申請書の提出方法

申請期日までに、(一財)消防試験研究センター栃木県支部へ持参するか郵送してください。(申請書は機械で処理しますので、表示されている折れ線以外のところでは折らないでください。)

1 4 危険物の種類、免状の種類及び取扱いができる危険物

危険物の種類		免状の種類及び取扱いができる危険物 (○印)					
類別	性質	甲種	乙種				
			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類
第1類	酸化性固体	○	○				
第2類	可燃性固体	○		○			
第3類	自然発火性物質及び禁水性物質	○			○		
第4類	引火性液体	○				○	
第5類	自己反応性物質	○					○
第6類	酸化性液体	○					○

《注》危規則第49条に定めるもの …… 危険物の規制に関する規則第49条に定めるガソリン、灯油、軽油、第3石油類（重油、潤滑油及び引火点130度以上のものに限る。）、第4石油類及び動植物油類

1 5 甲種危険物取扱者試験の受験資格

次表に示す対象者に該当する方は、甲種危険物取扱者試験の受験資格があります。

対象者	大学等及び資格詳細	願書資格欄 記入略称	証明書類
[1] 大学等において化学に関する学科等を卒業した方（専門職大学の前期課程を修了した方） (別表1参照)	大学、短期大学、高等専門学校、専修学校 大学・短期大学・高等専門学校・高等学校若しくは中等教育学校の専攻科 防衛大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等 専門職大学の前期課程を修了	大学等卒	卒業証明書、卒業証書 または学位記 (学科等の名称が明記されているもの)
[2] 大学等において化学に関する授業科目を15単位以上修得した方	大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、高等専門学校(高等専門学校は専門科目に限る)、大学院、専門職大学院、専修学校 大学・短期大学・高等専門学校の専攻科 防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大学校、気象大学校、職業能力開発	15単位	単位修得証明書 又は 成績証明書 (修得単位が明記されているもの)

(別表2参照)	総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等		
[3] 乙種危険物取扱者免状を有する方	乙種危険物取扱者免状の交付を受けた後、製造所等における危険物取扱いの実務経験が2年以上の方 次の4種類以上の乙種危険物取扱者免状の交付を受けている方 ○第1類又は第6類 ○第2類又は第4類 ○第3類 ○第5類	実務2年 4種類	乙種危険物取扱者免状及び乙種危険物取扱実務経験証明書 乙種危険物取扱者免状
[4] 修士・博士の学位を有する方(別表1参照)	修士、博士の学位を授与された方で、化学に関する事項を専攻した方(外国の同学位も含む)	学位	学位授与証明書、学位記、修了証書又は修了証明書(学位を取得していること、かつ、化学に関する事項を専攻したことがわかるもの)

※ 証明書類については、原本またはコピーしたものを添付してください。

[備考]

- 1 [1]の高等学校及び中等教育学校の専攻科については修業年限が2年以上のものに限ります。
- 2 [1]、[2]の専修学校については、修業年限2年以上、総授業時数1700時間以上の専門課程に限り認められ、証明書類として表の書類のほか次のいずれかの書面が必要になります。(ただし、表の証明書類に次の(1)又は(2)の内容が記載されている場合は、次の(1)又は(2)の書面は不要です。)
 - (1) 専門士又は高度専門士の称号が付与されていることを証明する書面又はその写し
 - (2) 専修学校の専門課程の修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に要する総授業時数が1700時間以上であることを証明する書面(書式例1を参照してください。)
- 3 [2]の大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、高等専門学校、大学院、専門職大学院等における修得単位は、卒業、在学中、中途退学又は通信教育等にかかわりなく算定することができます。放送大学も同様に算定できます。また、複数の大学等において単位を修得した場合は、それぞれの単位を通算することができます。
- 4 [2]の「単位修得証明書(危険物取扱者)」は、書式例2を参照してください。
- 5 [3]の「乙種危険物取扱実務経験証明書」は、事業主等の証明書です。受験願書のB面裏の様式を使用してください。
- 6 旧大学、旧専門学校、高等師範学校、実業学校教員養成所等の卒業者及び単位修得者、専門学校卒業程度検定試験合格者も受験資格を有する場合があります。詳細はお問合せください。
- 7 過去に甲種危険物取扱者試験の受験申請をした方は、その時の受験票若しくは受験票(控)又は試験結果通知書を提出することにより受験資格の証明書に代えることができます。(コピー可)
- 8 「願書資格欄記入略称」は、受験願書の「甲種受験資格」欄に記入するものです。
- 9 証明書類が外国語の場合は日本語訳を添付してください。

別表 1**化学に関する学科等の例**

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる学科又は課程
(ただし明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 人類文化学科等)
- 2 次の表に示す学科又は課程等

化学に関する学科又は課程等の名称					
ア 安全工学科	コ 工業材料科	セ 製造薬学科	フ 物質生物科学科		
イ 医療薬学科	厚生薬学科	生体機能応用工学科	物質生物工学科		
エ 衛生薬学科	高分子学科	生体物質工学科	物質生命工学科		
オ 応用原子核工学科	高分子工学科	生体分子工学科	物質生命システム工学科		
応用生物科学科	高分子材料工学科	生物応用工学科	物質分子科学科		
応用生物工学科	材料開発工学科	生物機能工学科	物質分子学科		
応用生命科学科	材料科学科	生物工学科	物質理工学科		
応用生命工学科	材料科学工学科	生物資源科学科	プロセス工学科		
応用微生物工学科	材料加工学科	生物資源利用学科	分子工学科		
環境生命科学科	材料学科	生物生産科学科	分子システム工学科		
環境物質工学科	材料機能工学科	生物分子科学科	分子生物学科		
環境マテリアル学科	材料工学科	生物薬学科	分子生命科学科		
基礎理学科	材料物性学科	精密素材工学科	分子素材工学科		
機能高分子学科	材料物性工学科	精密物質学科	マテリアル科学科		
機能高分子工学科	材料プロセス工学科	生命理学科	マテリアル工学科		
機能材料工学科	色染工芸学科	製薬学科	無機材料工学科		
機能物質科学科	資源工学科	繊維工学科	冶金学科		
機能分子工学科	資源素材工学科	繊維高分子工学科	冶金工学科		
金属加工学科	システム量子工学科	総合薬学科	薬科学科		
金属学科	食品科学科	総合薬品科学科	薬学科		
金属工学科	食品学科	素材工学科	薬剤学科		
金属材料学科	食品工学科	塗装科	薬品科学科		
金属材料工学科	食品工業科学科	醸酵工学科	有機材料工学科		
原子工学科	食料科学科	醸酵生産学科	窯業工学科		
原子力学科	森林資源科学科	物質科学科	林産学科		
原子力工学科	製剤学科	物質科学工学科	林産工学科		
原子炉工学科	製糸学科	物質工学科			

別表 2**化 学 の 授 業 科 目 例**

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる授業科目
(ただし明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 進化学等)
- 2 次の表に示す授業科目の講義、演習、実験、実習及び実技を含む。

化 学 の 授 業 科 目 の 名 称					
ア アモルファス物性工学	エ ポリマー材料工学	カ 化工熱力学	カ キ 官能基変換論		
安全管理学	応化・プロセス工学	化工物理学	機器分析		
安全工学	回折結晶学	化工流体工学	機能高分子学		
安全防災工学	界面工学	化石エネルギー	機能性高分子材料学		
移動現象論	界面制御学	火薬学	機能性材料工学		
移動速度論	界面電子工学	ガラス工学	機能性触媒工学		
医薬品安全性学	界面物性	ガラス材料	機能性有機材料		
医薬分子設計学	科学史	ガラス状態論	機能セラミック論		
医用高分子機能学	核燃料工学	ガラス物性	凝固論及び結晶生成		
衛生工学	核燃料サイクル特論	環境汚染物質分析学	金相学		
衛生薬学	核融合概論	環境物質工学	金属学		
栄養学	核融合工学概論	感光物性論	金属加工学		
エレクトロセラミックス	化工熱工学	岩石学	金属工学		

キ	金属材料学 金属材料工学 金属製鍊学 金属組織学 金属の相変態 金属表面処理 金属物性 計算溶液特論 結晶回折 結晶材料工学 結晶評価工学 原子エネルギー工学 原子核工学 原子力工学 原子炉材料学 原子炉燃料 コ 高温材料 高温反応工学 光学活性体合成論 高機能材料特論 高機能材料プロセス特論 工業火薬学 工業材料 工業排水処理 工業爆薬学 工業反応速度論 工業微生物 工業分析 格子欠陥 公衆衛生学 高重合反応 合成鉱物 抗生物質 厚生薬学 合成薬品製造学 構造用金属材料 酵素利用学 鋼中非金属介在物 鉱物学 高分子科学 高分子学 高分子工学 高分子合成 高分子構造 高分子固体構造論 高分子コロイド科学 高分子材料学 高分子反応 高分子物性論 固相変態論 固体反応 固体表面科学 固体物性論 固体平衡論 コロイド学 サ 細胞培養学	サ 材料解析 材料開発工学 材料科学 材料加工学 材料強度学 材料強度物性学 材料結晶学 材料工学 材料構造解析学 材料精製工学 材料精密工学 材料組織学 材料組織形成論 材料熱力学 材料反応学 材料物性学 材料物理工学 材料プロセス設計 錯塩基及び酸化還元 産業廃水処理 色彩工学 色染実験 システム安全工学 焼結固体反応論 焼成材料 釀造学 釀造工学 釀造工業概論 状態方程式特論 触媒工学 触媒設計 触媒反応工学 食品衛生学 食品栄養学 食品科学 食品工学 食品工業微生物学 食品分析学 植物分子生物学 人工結晶 人造纖維工学 新薬論 水質学 製剤学 製剤工学 製紙科学 製紙学 製紙工学 製造薬学 生体機能工学 生体機能電気科学 生体機能利用学 生体工学 生体高分子学 生体触媒学 生体光反応学	セ 生体分子工学 生体分子反応 製鐵製鋼耐火物 生物機能開発学 生物機能工学 生物機能利用学 生物工学 生物資源科学 生物資源利用学 生物反応工学 生物物性学 生物分子科学 生物薬学 精密材料物性 精密素材工学 精密分離工学 精密有機合成特論 製薬学 生理活性物質学 精錬漂白論 石油開発工学 石油生産工学 接合学 接着及び接着剤 接着学 セメント工学 セラミック科学 セラミック基盤材料 セラミック工学 セラミック材料学 セラミックス概論 セラミックス材料工学 セラミックス電子材料 セラミックプロセシング セルロース科学 纖維高分子工学 選鉱学 先端材料物性特論 相平衡論 相変態論 素材工学 耐火物概論 耐熱材料特論 多結晶材料工学 単位操作 単位反応学 単結晶材料工学 蛋白質工学 超高温材料 調剤学 鉄鋼材料学 鉄鋼表面処理 鉄冶金 定性分析 定量分析 電解製鍊工学	テ 電解反応 電気材料学 電気電子材料科学 電気電子材料学 電極反応論 電子材料 電子物性 伝熱工学 同位体地球科学 毒劇物学 特殊機能セラミック 毒性学 毒物学 土壤学 塗装学 塗料工業科学 二 ニューセラミック学 燃焼学 燃焼工学 燃焼熟工学 燃焼物理科学 粘土工学 燃料工学 燃料工業 燃料燃焼潤滑論 燃料燃焼論 燃料分析学 ノ 農薬学 バイオテクノロジー バイオプロセス工学 培養工学 爆発工学 薄膜材料工学 醸酵学 醸酵工学 醸酵工業論 醸酵生産学 パルプ学 パルプ工学 半導体工学 半導体材料 半導体デバイス工学 反応工学 反応性物質材料 反応操作 反応速度論 ヒ 非金属材料 非晶質科学 微生物遺伝学 微生物学 微生物機能学 微生物工学 非鉄材料学 非平衡論 表面・界面工学 表面工学
---	--	---	--	--

ヒ	表面分析 肥料学 フайнケミカル工業分析 複合材料機能学 腐食及び防食学 物質移動プロセス特論 物質科学 物質工学 物質構造解析論 物質構造論 物質生科学 物質生物工学概論 物質プロセス工学 物質分析法 物性科学 物性予測論 物性論 物体学 物理薬学 プラントエンジニアリング プロセス工学 プロセスシステム工学 プロセス制御工学 プロセスダイナミクス プロセス熱力学 分光分析 分散系物性学 分子遺伝学	フ	分子解析学 分子機能 分子機能設計学 分子構造論 分子ショーレーション特論 分子情報計測学 分子生物学 分子生物学 分子設計論 分子素材工学 分子熱力学 分子微生物学 分子薬理学 粉体工学 分離科学 分離工学 分離システム工学 分離装置工学 粉粒体工学 平衡論 平衡・反応論 放射線計測学 放射線物性計測学 膜機能工学 マテリアル工学 水処理工学 水処理実験 水の分子工学特論	ム	無機材質学 無機材料工学 無機電子制御反応 無機薬品製造学 免疫薬剤学 木材化工学 木材成分学 木材糖化論 木質材料学 木質資源化工学 木質資源工学 冶金学 冶金工学 冶金反応工学 薬科学 薬学 薬剤学 薬品学 薬品工業概論 薬品製造学 薬品製造工学 薬品分析学 薬物学 薬用植物学 薬理学 薬効学 有機機器分析 有機機能性材料	ユ	有機金属 有機構造解析 有機材料工学 有機材料工業論 有機材料設計 有機材料表面科学 有機材料物性 有機材料レオロジー 有機電解合成論 有機反応機構 有機反応論 有機分析学 有機薬品製造学 融体物有機材料電子物性 窯業工学 窯炉工学 粒子線結晶学 量子分光学 量子力学 林産学 林産工学 林産製造学 林産物製造学 臨床薬学 臨床薬理学 レオロジー
---	--	---	---	---	---	---	--

書式例 1 専修学校用受験資格証明書

○○第○○号	
甲種危険物取扱者試験受験資格証明書（専修学校用）	
フリガナ 氏名	○○ ○○ ○○ ○○
生年月日	年 月 日
学科・コース（専攻）	
入学年月日	年 月 日
卒業年月日	年 月 日
学校教育法第124条に定める専修学校として認可を受けた日及び文書番号 号 年 月 日 号	
課程の区分	(○○○○) 課程
修業年限	2 年
課題の修了に必要な 総授業時数	1 7 0 0 時間
上記のとおり証明する。	
年 月 日	
専修学校の所在地 _____	
専修学校の名称 _____	
証明者（専修学校の代表者氏名・役職名）_____ 印	

（注）証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

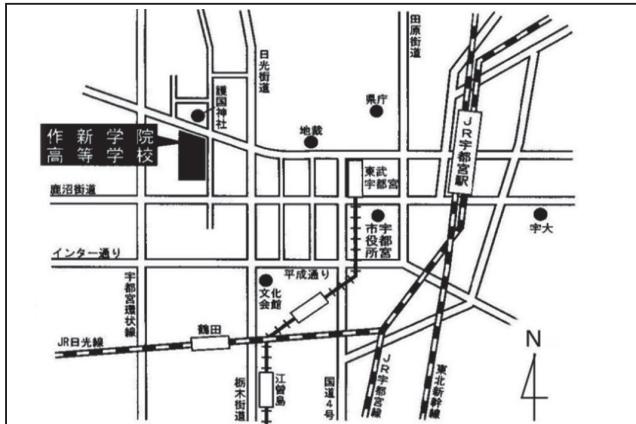
書式例 2 単位修得証明書（危険物取扱者）

○○第○○号			
単位修得証明書（危険物取扱者）			
年 月 日 入学 ○○部 ○○科	年 月 日 修了		
氏名 ○○ ○○			
年 月 日 生			
化学に関する 科目名	修得 単位	化学に関する 科目名	修得 単位
有機化学	4	高分子化学	2
無機化学	4	分析化学	2
燃焼工学	3	計	○○
上記のとおり証明する。			
年 月 日			
学校の所在地 _____			
学校の名称 _____			
証明者（学校の代表者氏名・役職名）_____ 印			

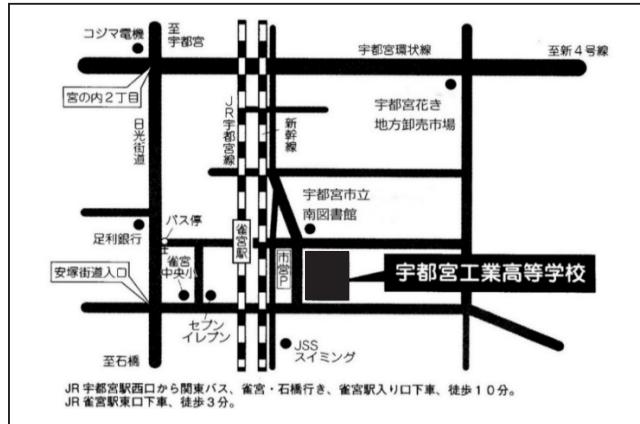
（注）証明書の書式は例の内容が記載されれば自由です。

（注）学長等が「化学に関する分野」と認めた授業科目は、原則として、そのまま単位として認めます。

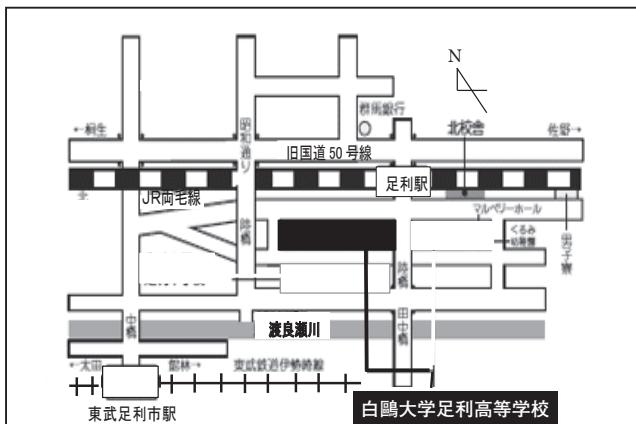
16 試験会場案内図



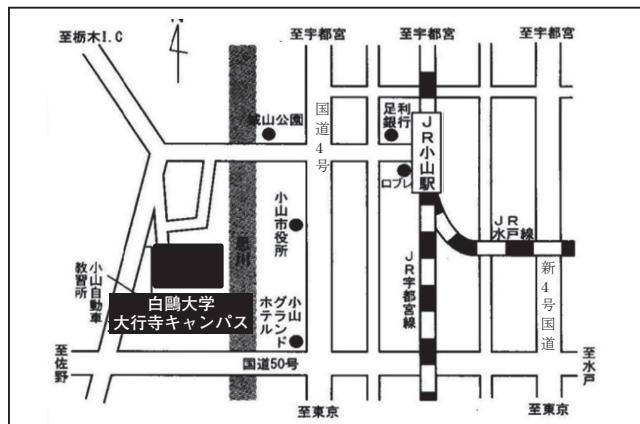
宇都宮市【作新学院高等学校】



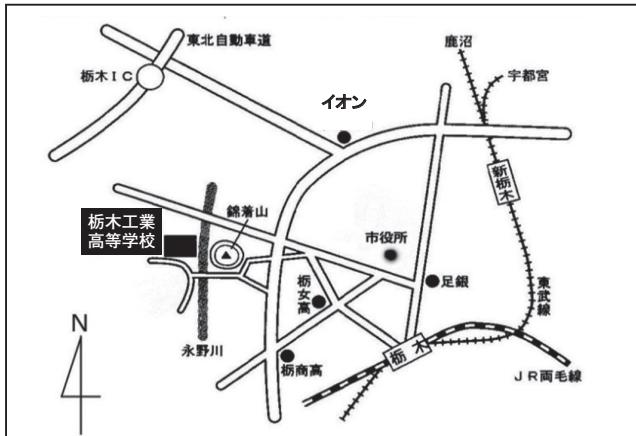
宇都宮市【宇都宮工業高等学校】(8月のみ)



足利市【白鷗足利高等学校】



小山市【白鷗大学大行寺キャンパス】



栃木市【栃木工業高等学校】



那須塩原市【那須清峰高等学校】



真岡市【真岡工業高等学校】

受験する方へ

試験会場内はすべて禁煙、車の乗り入れも厳禁です。

また近隣の方々への迷惑となりますので、会場周辺に無断で駐車しないでください。

無断駐車等でトラブルが発生した場合には試験を中断していただくことがあります。

1 7 受験願書の記入要領 13ページ以下の記入例を併せてごらんください。

- (1) A面及びB面があり、複写式となっています。折ったり、曲げたりしないでください。
- (2) 黒色のボールペンで、かい書で正しく書いてください。
- (3) 書き損じた場合は、横2本線を引いて、そのすぐ上に正しく書いてください。
- (4) 年月日を記入するすべての欄は、1桁の数字の場合、0を前に付けてください。

A 面

① 都道府県名欄には「栃木（受験をする都道府県名）」と記入してください。
② 申請日を記入してください。
③ 左づめで記入してください。また、カナ氏名の濁点・半濁点は、1マスを使用してください。
④ 左づめで記入してください。外国籍の受験者は、住民基本台帳に記載されている漢字又はパスポートに記載されているアルファベット氏名を記入してください。
⑤ 該当する元号に○を付け、生年月日を記入してください。 本籍の都道府県名を記入してください。外国籍の場合は、「外国籍」と記入してください。 本籍コードは、受験願書B面裏の都道府県等コードを必ず記入してください。
⑥ 郵便番号は、正確に記入し、住所は現に居住している所を都道府県名から記入してください。また、濁点・半濁点が入る場合には、1マスに入れてください。
⑦ 電話番号の局番等の間は1マス使用して「ー」でつなげてください。
⑧ 勤務先・学校名等を記入し、職場又は自宅等で連絡の取りやすい電話番号を記入してください。
⑨ 試験日を記入してください。
⑩ 受験する試験の種類に○を付けてください。乙種の受験者は、受験する危険物の類を記入してください。
⑪ 試験案内の受験地を記入してください。
⑫ 甲種の受験者は、受験資格を試験案内の「15 甲種危険物取扱者試験受験資格」の表に記載された「願書資格欄記入略称」により記入するとともに、証明書類を受験願書B面裏の各種証明書貼付欄にのり付けしてください。 乙種、丙種の受験者は、記入する必要はありません。
⑬ 乙種第1類又は第5類の受験者で火薬類免状を有する方は、該当する事項に○を付けてください。なお、「受ける」に○を付けた場合には、火薬類免状のコピーを受験願書B面裏の各種証明書貼付欄にのり付けしてください。 既に乙種危険物取扱者免状の交付を受けている受験者は○を付け、乙種免状のコピーを受験願書B面裏の既得危険物取扱者免状貼付欄にのり付けしてください。 丙種危険物取扱者の受験者で、5年以上消防団員として、かつ、消防学校の基礎教育又は専科教育の警防科を修了した方に該当する方は○を付け、消防団員歴証明書（コピー可）と消防学校の教育修了証明書（コピー可）を、受験願書B面裏の各種証明書貼付欄にのり付けしてください。
⑭ ⑩の他に同一の支部で試験を受ける場合は、記入してください。
⑮ 書類等に不備があった場合の連絡手段として、メールによる連絡を希望する方はメールアドレスを記入してください。（携帯電話アドレス可） なお、迷惑メール対策等の設定をしている方は、当支部からのメールが届くよう、ドメイン指定受信等の設定（ドメイン名 shoubo-shiken.or.jp）を行ってください。
⑯ 3か月以内に①の都道府県以外で受験の申請又は受験した場合は、都道府県コード、試験種類、乙種試験に係る危険物の類、試験日を記入してください。
⑰ 現在の職業等で、該当する箇所に○を付けてください。

- ⑯ 危険物取扱者免状の有無について、○を付けてください。
- ⑰ 危険物取扱者免状の交付を既に受けている場合は、該当する種類の元号コード（昭和3：平成4：令和5）、免状交付年月日、交付番号、交付知事、都道府県コードを記入してください。なお、免状のコピー（表面と裏面）を受験願書B面裏にのり付けしてください。
- ⑲ 免状の写真下に記載されている12桁の番号を記入してください。

B 面

- ① 払込用紙で払込みの場合
所定の払込用紙を使って、試験手数料（甲種 7, 200円、乙種 5, 300円、丙種 4, 200円）を郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で払い込んでください。
郵便局又はゆうちょ銀行の受付局日附印を確認し、「振替払込受付証明書（お客さま用）**受験願書貼付用**」を全面のり付けしてください。
注：本人控えの「振替払込請求書兼受領書」では受付できませんので、注意してください。また、「振替払込受付証明書（お客さま用）**受験願書貼付用**」を紛失しても、当センターで責任を負いません。
- ② 2次元コード経由で払込みの場合
決済完了メールに記載されている決済完了番号（18桁）を記入してください。

B面裏

- ③ 「実務経験」の受験資格で甲種を受験する方は、会社等の証明が必要です。会社印及び証明者の印の押印を忘れずに受けてください。他の証明書でも証明内容が充足していれば支障ありません。
他の受験資格で受験される方、甲種以外を受験される方は、必要ありません。
既に危険物取扱者の免状を交付されている方は、そのコピーをのり付けしてください。

確認事項（すべての記入が終わったら）

試験日、試験種類、申請締切日を確認のうえ、折り曲げずに必要書類を消防試験研究センター栃木県支部に郵送又は持参してください。

問合せ先

一般財団法人 消防試験研究センター栃木県支部
〒320-0032 宇都宮市昭和1-2-16 栃木県自治会館1階
TEL028-624-1022 fax028-624-1658

〒320-0032
宇都宮市昭和1-2-16
栃木県自治会館1階
(一財) 消防試験研究センター
栃木県支部 行

- ※ 消防試験研究センター栃木県支部に郵送する際、宛名ラベルとして切り取ってご使用ください。
願書は折り曲げずに郵送してください。受付最終日の消印があるものまで受け付けます。
- ※ 郵送の際には郵便料金を確認してください。
料金が不足していると受け取れません。

記入例 A面

記入例 B面

様式第25(第57条関係)

危険物取扱者試験受験願書

一般財団法人 消防試験研究センター理事長 殿		都道府県名	栃木	申請日	07年00月00日
申請者 氏名	フリガナ トチギ		サブロウ		
生年 月日	大・昭・平・令 04年00月00日生	本籍	栃木	都道 府県	栃木
郵便 番号	320-0032	自宅電話番号 又は携帯電話番号	028-624-1022	勤務先等連絡先	(株)○○石油
住 所	栃木県宇都宮市昭和 1-2-16 昭和ハイツ321号			連絡先電話番号	028-624-1022 内線()

試験日	07年00月00日
試験種類	甲乙丙種 第一類
受験地	宇都宮市
甲種受験資格	実務経験2年
科目免除	火薬類製造保安責任者免状又は火薬類取扱 保安責任者免状による試験科目免除を 乙種危険物取扱者免状の交付を 5年以上消防団員として勤務し、かつ、基礎教育又は専科教育の警防科を修了した者に

◎払込用紙で払込みの場合

①

- ※1
- ※2
- ※3
- ※4
- ※5
- ※6

ここに
「振替払込受付証明書」を
はってください。

振替払込受付証明書(お客様)(井)(郵便局・ゆうちょ銀行・ご依頼人) この受付証明書に日附印を押印し、 依頼人に交付してください。
一般財団法人 消防試験研究センター
00170-3-136220

※依頼人住所
氏名
(電話)- - - -
[郵便局へ]⇒日附印を押印

貼受
試験
願書に
つけて
ください

日附印なき証明書は無効
[払込人:消防試験研究センター]
[承認番号東京支店 2015号]

願書識別番号: 1120112345673

※受験番号

12345

◎2次元コード経由で払込みの場合

(+) ※令和7年4月1日からご利用いただけます。

左記の2次元コードで手数料の払込みができます。

- ・2次元コードで手数料を払込む場合は、同封されている払込用紙は使用しないでください。
- ・2次元コード読み取り先の注意事項をよくお読みになり、試験日、受験地、試験種類を確認し、記入した願書情報と異なる試験を選択しないようにしてください。
- ・この願書と2次元コードは、固有の識別番号でペアになっております。必ずこの2次元コードを使用してください。

利用できる決済手段: クレジットカード、コンビニエンスストア
ペイジー、PayPay、メルペイ

決済完了番号(18桁)

(2) ※必ず決済完了番号を下欄に記入してください。

-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 本籍の欄は、本籍地の属する都道府県名を記入すること。ただし、
外国籍の者は、「外国籍」と記入すること。
- 3 ※印の欄は、記入しないこと。

※団体コード

※受付機関コード

※分類コード

※

(B面)

記入例 B面裏

各種証明書等貼付欄 この部分にのりづけしてください。 なお、この部分に「振替払込受付証明書」は貼付しないでください。
--

都道府県等コード表

北海道	01	福島	07	東京	13	山梨	19	滋賀	25	鳥取	31	香川	37	熊本	43
青森	02	茨城	08	神奈川	14	長野	20	京都	26	島根	32	愛媛	38	大分	44
岩手	03	栃木	09	新潟	15	岐阜	21	大阪	27	岡山	33	高知	39	宮崎	45
宮城	04	群馬	10	富山	16	静岡	22	兵庫	28	広島	34	福岡	40	鹿児島	46
秋田	05	埼玉	11	石川	17	愛知	23	奈良	29	山口	35	佐賀	41	沖縄	47
山形	06	千葉	12	福井	18	三重	24	和歌山	30	徳島	36	長崎	42	外国籍	99

③

乙種危険物取扱実務経験証明書

氏名	柄木三郎		04年00月00日生
取扱った危険物	第4類	品名	灯油
取扱った期間	令和2年4月1日から 令和4年3月31日まで (2年00月)		
製造所等の区分	・製造所 <input checked="" type="checkbox"/> 貯蔵所 <input type="checkbox"/> 取扱所		
上記のとおり相違ないことを証明します。			
証明年月日	令和7年00月00日		
事業所名	(株)○○石油		
証明者	役職	代表取締役	印
	氏名	宇都宮 太郎	会社印
	電話	028 - 624 - 1022	印
			証明者の私印

甲種危険物取扱者試験を受験する方は、各種証明書類（必要事項が記入されており、押印されているもの。）を貼付して下さい（消防法第13条の3第4項第1号及び第2号）。

既得危険物取扱者免状（コピー）貼付欄	表
--------------------	---

※各証明書等について、内容確認のため連絡をさせていただくことがあります。

(B面裏)